



エコ・ファーストの約束

－ 環境先進企業としての地球環境保全の取り組み －

2024年4月10日

環境大臣 **伊藤 信太郎** 殿

株式会社 荏原製作所

取締役 代表執行役社長 CEO & COO **浅見 正男**

株式会社荏原製作所は、水と空気と環境の分野で、優れた技術や製品、最良のサービスを提供することにより、世界の持続可能な発展と安全・安心で豊かな社会の実現を目指しています。そのために、以下の取り組みを進めてまいります。

1. 脱炭素社会の構築を目指し、以下の取り組みを推進します。

- ◆ 荏原製作所は 2050 年にカーボンニュートラルの達成を目指します。
- ◆ 荏原製作所の企業活動に伴う温室効果ガス排出量（Scope1,2）を 2030 年度に 2018 年度実績より 55%削減します。
- ◆ 自社の排出量（Scope1,2）に加え、2024 年度から Scope3 を含めたサプライチェーン全体の温室効果ガス排出量を把握・公表し、削減に取り組みます。
- ◆ 脱炭素社会の実現に向け、次世代エネルギーである水素について、CO2 フリー水素の製造や水素活用技術の開発を推進します。
- ◆ 「気候関連財務情報開示タスクフォース(TCFD)」に賛同し、気候変動に関する取り組みと情報開示を継続的に行います。

2. 資源循環、サーキュラーエコノミー社会の構築に向けた取り組みを推進します。

- ◆ 世界がサーキュラーエコノミー、脱炭素に向かい、焼却される廃棄物は年々減少することを見据え、廃プラスチックからガスやオイルを回収し、石油や石油化学の原料に資源循環させるケミカルリサイクルのスキームを構築します。
- ◆ 廃棄物の再資源化率についてごみの分別、ペーパーレス化の推進等に取り組み、国内事業所にて 95%以上を維持します。また、廃棄物の再資源化に関して、独自の廃棄物管理フローと管理指標を設け、廃棄物から有価物への転換、処分委託先で再資源化可能な状態での排出を進め、サーマルリサイクルに供した量とマテリアルリサイクルに供した量を集計し、HP で実績を公開します。

3. 水利用の効率化と排水負荷の低減を推進します。

- ◆ 従来、水資源の効率的な利用の観点から売上高あたりの水の使用量が前年を超えないことを目標として取り組んでいます。また各事業所からの排水についても規制値を超えないように監視を行っています。更なる水資源の効率的な利用を進めるために、多量に水を使用するプロセスを有する事業所に関して排水の再利用を進めていき、再使用に供した水量を HP で公開します。

株式会社荏原製作所は、上記取り組みの進捗状況を確認し、その結果について環境省へ報告、ならびに定期的にレポートやホームページにて公表いたします。

